

経営比較分析表

佐賀県 吉野ヶ里町

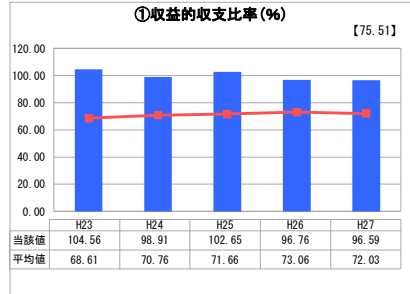
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.44	3,510

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,248	43.99	369.36
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
72	0.21	342.86

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- [] 平成27年度全国平均

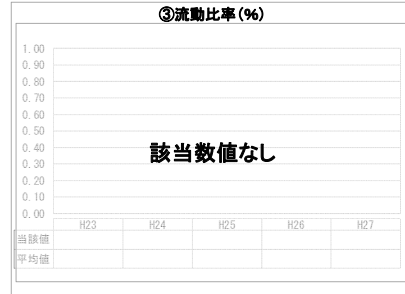
1. 経営の健全性・効率性



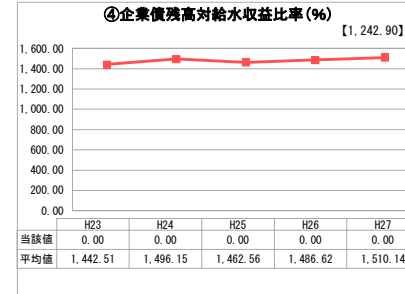
「単年度の収支」



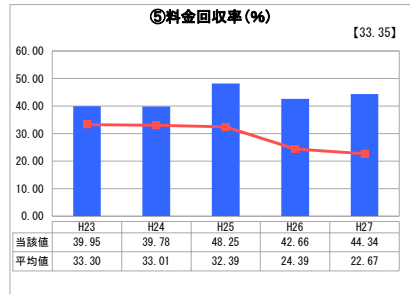
「累積欠損」



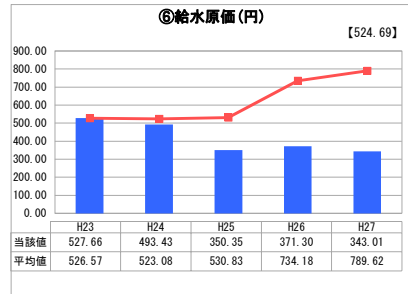
「支払能力」



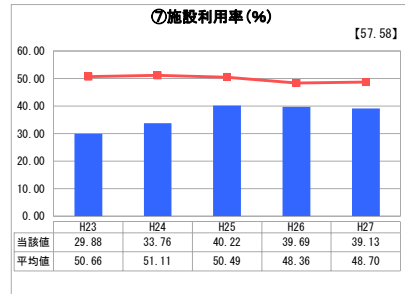
「債務残高」



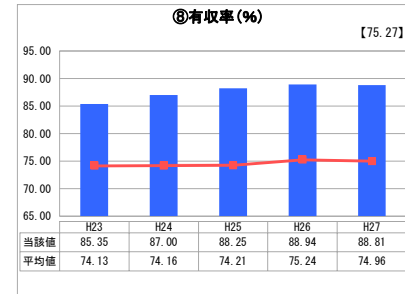
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

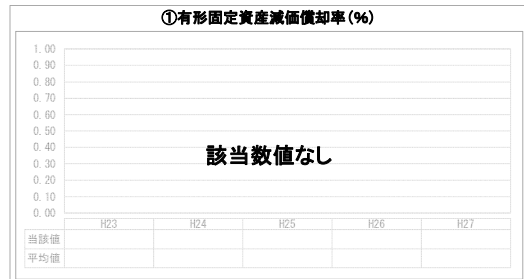


「施設の効率性」

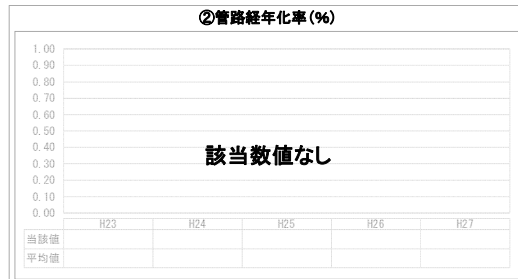


「供給した配水量の効率性」

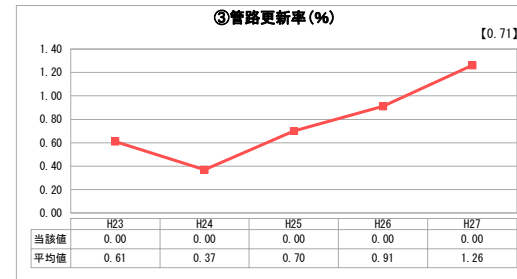
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・収益的収支比率は100%前後の数値で推移している。今後、老朽化等による施設等の改修も見込まれるため健全経営に努める必要がある。

・料金回収率は類団平均値を上回っているものの、40%程度で推移しており、給水収入以外の収入(繰入金)で賄われている状況である。必要に応じて料金の見直しを検討する必要がある。

2. 老朽化の状況について

・簡易水道事業を開始して33年ほどが経過している。これまで道路改良に伴う本管の一部改修、取水口の改修を行ったものの、老朽化による改修は行っていない。今後、大規模な改修が必要になると見込まれる。

全体総括

・管路更新については管路更新計画を作成し、計画的な改修を行う必要がある。

・簡易水道事業の安定運営、事業継続のための経費削減に努めるとともに、必要に応じて水道料金の見直しを検討する必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。